

## BASF、塩化ビニール用スペシャリティ可塑剤の製造能力を 年産 10 万トンに拡大

2006 年 10 月 25 日

Hexamoll® DINCH(ヘキサモールディンチ)、欧州食品安全機関からの認可を受ける

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、スペシャリティ可塑剤、Hexamoll® DINCH(ヘキサモールディンチ)の製造能力を年産 10 万トンまで引き上げます。ヘキサモールディンチは、高い安全性が求められる用途向けに特別に開発された可塑剤で、ドイツ本社で年産 2 万 5,000 トンを生産しています。製品の需要は、2002 年の発売以来、世界中で増加しており、現在、ドイツ本社のプラントがフル稼働で対応しています。今回、生産を引き上げた分が商業生産に入るのは 2007 年第 2 四半期です。

ヘキサモールディンチのこれまでの用途は、主に玩具と医療関連製品でしたが、今後は、ラップやシール材など、食品と接触する製品への応用も重要になると期待しています。ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)からすでに推奨を受けており、さらに今年 10 月には、欧州食品安全機関(EFSA)からも認可を受けました。ヘキサモールディンチは、可塑剤分子の食品への移行が 1kg あたり 60mg 以下と規定を受けているため、ラップやチューブ、シール材など、食品と接触する製品で広く使用することが可能です。

今回の認可は、欧州各国を対象にしたものですが、世界中のお客様に重要な意味を持つといえます。例えば、アジアは玩具製造の世界の中心であり、玩具業界のお客様に対して、ヘキサモールディンチが毒性面で安全であることが重ねて確認されたことを意味します。

### **BASF の安全性への取り組み**

近年 PVC 用可塑剤は、一部用途において健康被害を発生する恐れがあるとの批判を受けてきました。そのため BASF では、「持続可能な可塑剤」というプロジェクトを 1997 年に開始し、玩具や医療機器、食品と接触する製品などの用途に適した代替製品の開発を進めてきました。

ヘキサモールディンチは、初期の段階からさまざまな毒性試験を行いました。毒性試験だけで総額 500 万ユーロもの資金を投じており、現在市販されている可塑剤の中では、最もよく研究された製品といえます。いずれの毒性試験でも、ヘキサモールディンチの安全性が非常に優れていることが確認されました。特に体内に入る恐れのある用途において、高い安定性を保つことが確認されました。ドイツの第三者機関でも、塩化ビニール内におけるヘキサモールディンチの可塑剤分子の外部への移行率が非常に低いことを包括的な試験により確認されています。

### **既存設備への導入も簡単**

ヘキサモールディンチの切り替えは、既存の加工設備で問題なく行えます。従来の混合比率や設定条件を少し調節するだけで済みます。切り換えを行う際には、BASF のグローバルな技術チームがサポートしますし、必要であれば、現地の生産拠点に出むいてのコンサルティングも行います。

ヘキサモールディンチは、玩具や子ども向け製品におけるフタル酸系可塑剤の使用を制限する新しい EU 規制に対応しており、欧州とアジアの玩具業界で広く使用されています。

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所: 〒102-8570  
東京都千代田区紀尾井町 3-3  
TEL: 03-3238-2341  
FAX: 03-3238-2514  
URL:<http://www.basf-japan.co.jp>

シュライヒやジンバトイズ、アネット・ヒムステッド、ジョンなどの玩具メーカーが、すでにヘキサモールディングを採用しています。ドイツの大手医療機器メーカー、Pfrimmer Nutricia 社も、体内への栄養摂取用の器具の生産で、全面的にヘキサモールディングを使用しています。

水まき用ホースなど、柔軟性を持つその他の PVC 製品に使用したいというケースや、子どもの模型工作材料といった PVC(ポリ塩化ビニル)以外のデリケートな用途についても、問い合わせが増えています。

### **可塑剤について**

可塑剤は、単独では硬く砕けやすいポリ塩化ビニルに柔軟性を与え、さまざまな商品に応用できるようにするもので、フローリングやケーブル被覆、血液バッグ、ラップなど、毎日使われるさまざまな製品の製造に不可欠です。BASF は年産 50 万トン以上の製造能力を持ち、可塑剤の世界的大手メーカーの 1 社として、汎用製品からスペシャルティ製品にいたるまで、顧客のニーズに合わせた豊富な製品を提供しています。

### **数々の賞を受賞**

今年、ヘキサモールディングは、技術革新に関する賞を 2 つ受賞しました。まず、一つは ICIS Publications による 2006 年ベスト・プロダクト・イノベーションのイノベーション賞です。また、2006 年社内の BASF イノベーション賞も受賞しました。

###

### **■ BASF について**

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASF の製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されている BASF は、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASF では、新技術の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことでより良い未来に貢献しています。約 9 万 4,000 人の従業員を擁する BASF は、2005 年度には 427 億ユーロを超える売上高を計上しました。BASF の株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは [www.basf.com](http://www.basf.com) です。BASF ジャパン(株)のホームページのアドレスは、[www.basf-japan.co.jp](http://www.basf-japan.co.jp) です。

### **■ この件についてのお問い合わせ先**

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀 Tel. 03-3238-2341

BASF ジャパン株式会社 広報代理

ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社 野田 葉子 Tel. 03-5768-8412